

目次

昭和の市川に暮らした作家

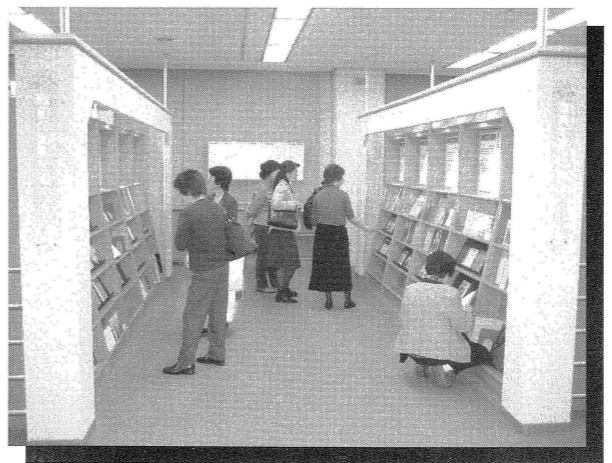
1 幸田露伴一家 一 幸田露伴 二 幸田文と青木玉 三 露伴の弟子・塩谷養	14 13 18
2 永井荷風 一 荷風の残したものは 二 市川へ 三 同居人荷風 四 「断腸亭日乗」に見る戦後の市川 五 荷風のこだわり 六 市川の荷風 七 浅草へ銀座へ 八 「祭日 陰」 九 荷風いちかわマップ	20 19 21 22 25 26 28 30 31
3 井上ひさしと昭和 一 荷風に惹かれて市川へ 二 昭和と市川へのまなざし 三 市川を描く	32 32 33 34
4 戦前の面影を追って 一 安岡章太郎 二 中野孝次 三 郭沫若 四 和田芳恵 五 正岡容	36 36 37 38 39 40
5 復興を遂げた時代に 一 式場隆三郎 二 楠田匡介 三 矢田挿雲 四 五木寛之 五 島尾敏雄	41 41 42 43 44 45
6 変貌し続ける都市で 一 山本夏彦 二 小島貞一 三 祖田浩一 四 伴野朗 五 水木洋子	46 46 47 48 48 49
7 短詩型文学の世界 一 近現代短歌史と市川 二 近現代川柳史と市川 三 能村登四郎 四 宗左近	50 50 51 52 53

いちかわ文学早分かり

一 『万葉集』の「真間の手児奈」に始まる市川の文学(古代)	4
二 頼朝も日蓮も活躍した中世	5
三 松尾芭蕉や小林一茶も訪れた賑わいの近世	6
四 鉄道を使って多くの文人が訪れた明治・大正	7
五 戦争を前後して著名作家が暮らした昭和前期	8
六 さまざまな文学活動が展開した昭和後期	9
七 そして、市川市文学プラザへ！(平成)	10

いちかわ文学情報

一 市川を作品に描いた文人たち	54
二 市川を描いた古典作品	55
三 市川で活躍している文人たち	56
四 市川に暮らした文人たち	57
五 いちかわ文学マップ 文人ゆかりの場所 文化施設 名所旧跡・寺院 句碑 歌碑 その他の文学碑	58 59 60 61 62
六 市川市文学プラザのなりたち	63



展示・図録協力者一覧 (敬称略・順不同)

青木 玉/五木寛之/井上ひさし/宗 香/宗 左近/安岡章太郎/小島豊美
小西鮎子/小松 良/大西信行/式場隆史/島尾伸三/祖田康子/伴野 朗
永井永光/中野 秀/能登谷洋子/正岡淳子/矢田信子/山本伊吾/和田静子
青柳隆久/青山久仁子/今井ツヤ/岡本公夫/川本三郎/久我久男
佐藤光恵/佐脇侑利子/高橋エミ/田淵 暁/中原ひとみ/成瀬つね子
西川智泰/根岸基弘/初山火治朗/松谷春男/三留理男/吉井道郎
生野まり/梶山俊夫/灰鳥かり
水木洋子市民サポーターの会
エピック/角川映画/工作社/こまつ座/新国立劇場/新潮社/東宝
文藝春秋
市川市文化振興財団/市川歴史博物館/市川市中央図書館
市川市映像文化センター

凡 例

*この図録は、市川市文学プラザ開館記念展として2005年(平成17)10月25日から2006年(平成18)4月9日まで開催された「昭和の市川に暮らした作家」の展示内容に基づいて、会期終了後に再構成した展示図録です。

*展示および図録においては、常用漢字の使用を基本とし、敬称は省略させていただきます。

*この図録では、作品名を「 」で、単行本・雑誌名を『 』で表記しました。

*「永井荷風」の項は松岡久美子氏(市川市文化芸術専門員)、「井上ひさし昭和と市川へのまなざし」の項は小川隆啓氏(市川市教育総務部長)、「近現代短歌史と市川」の項は神作光一氏(東洋大学名誉教授)の原稿に基づき再構成しました。

*この図録の編集は、文学プラザ司書・根岸英之を中心に、文学プラザおよび市川市文化振興課の職員が行いました。

*著作権およびプライバシー等については、十分に配慮しましたが、その他を含めて、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。